

令和6年度 第4回金沢市 DX 会議 発言要旨

【日時】令和7年 2 月 26 日 13:30~15:00

【場所】市役所第一本庁舎 405 会議室

○DX アクションプランの改訂について

・市民パスポートとはどのようなものか。

→金沢市独自のスマホアプリを使用し、マイナンバーカードで本人確認を行い、避難所運営の際には、スマートフォンで入退室の管理ができるものを考えている。

・市民パスポートについては、生体認証の仕組みは取り入れていかないのか。

→将来的には、生体認証についての可能性もあるが、まずは確実なスマートフォンのアプリを使用したものを考えている。

・職員の人たちも目標値ができれば、その目標値がクリアになるのではないかと思います。KPI はどういうタイミングで設定するプロセスになっているのでしょうか。

→DX アクションプランには当初は KPI がなかったので、昨年追加した。次期計画では、進捗を確認する方法を検討していきたい。

・観光の混雑状況について、6か所でカメラを設置することなのですが、この得られたデータをオープンデータなどとして活用する予定はあるか。

→今のところ、混雑状況の配信のみでデータ化までは予定していない。次に、どのようなことができるのかは検討していきたい。

・BI ツールを活用した市民サービス向上施策検討は、市が持っているデータをホームページなどに BI ツールで可視化して見せていくというものなのか、それとも庁内で分析用に使っていくものなのか。

→まず各課にどのようなデータがあるのか、そのデータを使って何ができるのかを調べていきたい。データに裏打ちされた政策は説得力があるという実績を増やしていくことにより、データ活用の土壌を作っていきたい。将来的には、オープンデータやホームページなどでの公開も検討していきたい。

○報告事項について

・デジタル行政推進リーダーの育成によって内製のできる人たちが増えてきていると感じており、すごいことだと思う。次のステップとして、データの活用ができる人材も増やしていってほしい。

・DX 通信など、全ての職員に知ってほしいものは、強制的に見せる機能を使って通知していくと良いのではないか。